

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	情報・情報A		単位数	2単位	履修学年	2年
目標	<p>1. 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。</p> <p>2. 自ら課題を見つけ、解決していく能力を身につける。</p> <p>3. 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。</p> <p>4. 情報機器の特性や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。生活者としての自己認識と生活に関する科学的認識を基礎として、生活課題を主体的に解決し、現在および将来の生活を充実向上することのできる資質・能力を育成する。</p>					
使用教材	日本文教出版 情報O67 「新・情報A」					
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)		
	コンピュータや情報通信ネットワークなどの関心をもち、身の回りの問題解決を通じて情報を主体的に活用しようとする。	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。	コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な技能を修得する。	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な基礎を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。		
評価方法	<p>1. 情報活用の実践力 2. 情報の科学的な理解 3. 情報社会に参画する態度 以上の3点に関して、学習到達度を評価する。</p> <p>◆ 主な評価方法について</p> <p>1. 知識・理解に関しては定期試験の結果。</p> <p>2. 技能については学習過程の中で完成させた「作品」を中心に、制作過程の取り組みを含める。</p> <p>3. 態度についてはポートフォリオとレポートをメインに自己評価を利用する。</p> <p>なお、グループワークについては、活動中の個別評価において「観察」ならびに自己評価を重視する。 また、高校までの経験の違いを配慮し、生徒の能力に応じた評価をする。</p>					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	<p>1. 情報の活用とコンピュータ ～ 情報社会における問題解決能力を育てる</p> <p>2. ネットワークの活用 ～ 個人情報保護について理解し、ネット社会で被害者・加害者にならないための能力を育てる</p>			<p>1. 情報を判断し取舍選択することの必要性を理解し、問題解決能力を育てると共に、問題の明確化を図る。</p> <p>2. ネットワークを利用するときの注意事項を理解する。</p> <p>3. 情報の信憑性と信頼性について理解するとともに、個人情報の意味や漏洩の実態などを理解し、防止策について議論し、適切な判断能力を育てる。</p> <p>4. 各種法律に関する知識を得る。</p>		
2	<p>3. マルチメディアの活用 ～ ワード、エクセル、パワーポイントの利用技術を習得し、プレゼンテーションを効果的におこなう能力を育てる</p>			<p>1. 各種情報機器の活用能力を育て、リテラシーの基礎知識を得る。</p> <p>2. プレゼンテーションを通じて、ソフトの利用技術、発表技術の向上を図るとともに、お互いの発表について評価をするために、批判と賛同する能力を身につけさせる。</p>		
3	<p>4. 未来に向けて ～ 情報社会への主体的な賛歌と21世紀の情報社会のあり方を考える能力を育てる</p>			<p>1. Webページの作成方法を学び、情報の発信について適切な判断能力を得る。</p> <p>2. ネットワークの犯罪、ネットワークの故障、テクノストレスなどの健康被害、雇用問題、情報格差などについて理解を深める。</p>		
学習上の留意点	コンピュータに関する基礎・基本、問題解決能力、プレゼンテーション能力を身につけさせる。また、コンピュータの利用技術に関しては、生徒間格差が広まりつつある。対策として、夏期休暇中に利用技術の修得をするための補習を10～15日程度おこない、実技に関しては概ね2学期以降におこなう。					